議会・議員の動き

今回、市民から「後期高齢者医療制度の中止・廃止を求める意見書」を政府に提出することを求める請願が、署名約8000人と共に、今議会へ提出されました。
多くの傍聴者が見守る中で、委員会で審議、私は賛成討論をしました。

私は制度自体、すべてを否定しているのではありません。ただ制度導入が始まって約半年が経過している現在でも様々な混乱が生じており、その度に、応急措置的な改善をしていますが、それがさらに混乱を生じていると思います。また、制度導入まで約２年を要しましたが、その中で肝心な「国民の目線や立場」が置き去りにされ、官僚主導で導入された制度だと感じます。本市は、現在、高齢化率が比較的低い自治体ですが、今後、高齢化率の上昇のスピードは国内でも１位・２位を争う自治体と言われています。
このような自治体議会だからこそ、市議会として政府に対し、意見を申す姿勢が重要と考えます。

採択の結果は、自民クラブ・公明党の反対多数で否決となりました。
それぞれ、国（政党）との関係での意思表示だと思いますが、そもそも国と地方とは、抱えている諸問題が違う場合が多々あると思います。
地方分権時代、地方は地方の考え方を示すのが地方議員の役割だと私は思いますが・・・

日本税制改革協議会（ＪＴＲ）の勉強会９月２１日・２３日（政務調査費で参加）

（前）我孫子市長の福嶋氏を講師として、２日間にわたり、「市民の自治体をつくる」～市民・議会・首長の役割～をテーマに勉強会がありました。

当日は、近隣自治体の志の高い議員、そして現役の市長も参加、会場の空気も「ピーン」と張り詰めた状態で、福嶋氏も予定されていた時間を大幅にオーバーして熱く、これからの議員・首長としての心構えを「伝授」いただました。

また２日間、同世代の若い議員と交流が出来ました。

民生経済・消防常任委員会の視察（１０月８日～１０日）

新潟県長岡市　（防災シビックコア地区整備事業について）
見附市　（いきいき健康づくり事業について）
上越市　（家庭ごみ有料化について）
（公費負担）

写真は見附市の「いきいき健康づくり事業」の一環を実際の会場を視察しました。皆さんとてもハツラツとして、それぞれ自分に合ったトレーニングをしていました。八潮市でもひと工夫すれば、実施できる事業ではと感じました。
やっぱり職員の「やる気と工夫」の差？